

「校長たより」にアクセスいただいた皆様

「校長たより」にアクセスしていただき、ありがとうございます。今回は、次の4つを掲載いたしました。

①きらっと光る子どもたちの生の声

○校外での大切な学び

②キラッと輝くエピソード

○相手を幸せにする行動④～10/10（木） 中学部1年生の帰りの支度でのこと～

○相手が幸せになる行動⑤～10/11（金） 中学部クリーン活動でのこと～

③本校の教育活動

○支援するタイミングと内容～10/7（月） 津南町支援員・学習支援員研修会から～

○子どもたちの成長が働き方改革につながっている！

④お耳を拝借

○十日町小ボランティア委員会から嬉しいお話 ○絵本の紹介

お読みいただき、本校の教育活動にご理解いただくとともに、ご指導ご助言いただきますようよろしくお願い申し上げます。

校長 上松 武



令和6年10月23日



チームふれあい 27人の先生方へ

「なかよく たのしく たくましく」生きる

子どもの育成を目指して⑭ -1023 校長たより-

～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう！幸せにしよう！～

上松 武

1 きらっと光る子どもたちの生の声

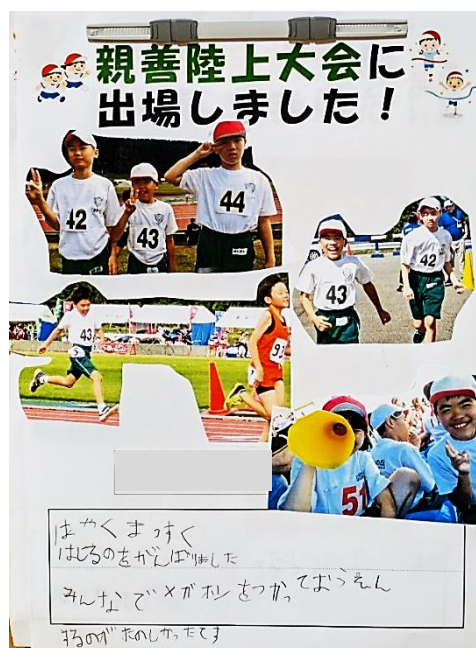
○校外での大切な学び



県庁（けんちょう）ふりかえり

くたのしかったこと

- ・ すいじょうばすにのりました。かもめにえびせんをあげました。たのしかったです。
- ・ けんちょうのてんぼうだいでんしゃとひこうきをみました。



□左のシート

- ・ 小学部3、4年生が、十日町小4年生と新潟市へ社会科見学に行った後に書いたものです。
- ・ 振り返りを、タブレットで書いたのでしょうか、見たことや感じたことを具体的に表現できています。

□右のシート

- ・ 小学部5、6年生が親善陸上大会に参加

した後に書いたものです。十日町小の児童と一緒に競技をメガホンで応援している姿、いいですね。

- ・ 自分の目標に対してどうだったか、これからどうしていくかが書かれています。とても頼もしく思います。

2 きらっと輝くエピソード

○相手を幸せにする行動④ ～10/10 木 中学部1年生の帰りの支度でのこと～

(10)月(10)日(木) 曜日 天気(はあ)		今日のふりかえり
1	あさ かい 朝の会	フェスティバル
2	ひんしやう フェス練習(体育館)	[お、がんばった]が、たのしかった]
3	こべつがくしゆう 個別学習 体重測定、避難訓練	一言感想 せりふのおれ
4	りか 理科	しやうたじかしの けさのせいとしけ
5	こうりゆうはっぴよう 交流発表ステージ練習	かみのうありました
通 回 録		学校の授業で、暖房の電源を(また、 目覚ましを)つけた。アパロのまわく おふくは、あそびに行くと、 また、目覚ましを、目覚まし よめ、自分で、あつきました。外、 今日は、かんぱいして、あつきました。

- ・帰りの支度をしている時のことです。たまたま中学部1年生の教室に入り、女子生徒の連絡帳の振り返りを点検していました。
- ・とても丁寧にしっかりと振り返りを書いていましたが、枠の外にはみ出していた文字があったため、修正をお願いしました。赤ペンを担任の先生から借りて、**私**が持ちやすいようにペン先を自分自身の方に向けて渡してくれました。

・とても心があたたかくなりました。そして、先生方が相手に連絡帳やプリントを渡す際の渡し方を繰り返し指導していたことを思い出しました。毎日の指導が花開いた瞬間に出会うことができ、そのことでもあたたかい気持ちになりました。

○相手を幸せにする行動⑤ ～10/11 金 中学部クリーン活動でのこと～



- ・今年度3回目のクリーン活動を行いました。ある班と一緒に行動し、秋晴れの気持ちのよい午後、学校周辺のゴミ拾いに生徒たちと取り組みました。
- ・拾ったゴミを分別している時に、ある男子生徒が「今度、ぼくの地域でもやってみようかな」と話していました。すかさず、活動の終わりの場面でこの発言を取り上げて、他の生徒にも紹介していました。
- ・学校で学んだことを地域で生かそうとしている生徒の言動に、心があたたかく幸せな気持ちになりました。
- ・この学習から何かを感じとり、学んでいる姿に大きな成長を感じています。

3 本校の教育活動

(1) 授業改善

○支援するタイミングと内容 ～10/7 (月) 津南町支援員・学習支援研修会から～

Q1 どのタイミングで支援に入るとよいか

[事例1] 前と後ろを間違えてしまうため、服の後ろの裾にマークを付けた。

- ①体操着の上着を取り出す。
- ②上着のすそを持つ。
- ③上着をかぶって頭を出す。
- ④上着の右手をそでに入れて通す。
- ⑤上着の左手をそでに入れて通す。
- ⑥上着のすそを下まで引っ張る。



- 上着を着る手順を細分化します。
- 前と後ろを間違えて着ないために、**どこで、どんな場合に、どんな支援**をしますか。

Q1 どのタイミングで支援に入るとよいか

前と後ろを間違えて着ないために、**どこで、どんな場合に、どんな支援**をしますか。グループで考えてみましょう。

グループで考えた考え	
どこで	②のときに
どんな場合に	すそのマークが見えていない場合
どんな支援を	① かぶる動作を制止させる ② 「あれ？」という表情をする(マークへの気付きを促す) ③ すそを指さす ④ 「マークは？」と声掛けをする ※番号が大きくなるほど、支援の度合いが高くなる。

・上のスライドの事例1の児童が体操着を着る際に前と後ろをいつも間違えてしまいます。間違わず着れるようになるために、後ろの裾にマークを付けました。そ

のマークを見ながらかぶれば、前後間違えずに着ることができます。

- ・では、私たちはこの目標達成のために支援をどう行えばよいでしょうか。この児童への支援で重要なポイントは、「自分で前後を間違わずに着るために、どのタイミングで、どんな場合に、どんな支援をするか」ということです。
- ・右のスライドに1つの例を挙げています。
 - どのタイミングで：②上着のすそを持った時に
 - どんな場合に：すそのマークが見えていない場合に
 - どんな支援を：かぶる動作を制止させる
 - (ダメであれば)「あれ？」という表情をする
 - (それでもダメな時は) すそを指さす
 - (それでもダメな時は)「マークは？」と声掛けをする
- ・支援する内容は、例のように間接的な支援から徐々に直接的な支援となっています。気付かせることで、他者からのより少ない支援で、あるいは自分だけの力で目標を達成できると考えられるからです。
- ・支援のタイミングですが、つまづいたからすぐに手を差し出すのではなく、どんな場面に、どんな支援をするのかあらかじめ考えておくことが必要です。見守ることも大切な支援です。

(2) 業務改善

○子どもたちの成長が働き方改革につながっている！

- ・本校の職員室は、18:30 過ぎには数名の先生方がいるのみです。城ヶ丘ふれあいフェスティバルの前であっても、19:00 近くには先生方の姿はまばらになります。
- ・段取りよく、計画的に時間を使って仕事をしているから、先生方の退勤が早いと、私は考えています。
- ・週一回の学級優先日には会議を入れないことを徹底していたり、職員会議の議題を調整してその月の会議を行わなかったりと、「しなくても教育活動に支障がないことはしない」という考え方を実行していることで、時間的なゆとりと精神的なゆとりが生まれているのかもしれない。
- ・さらに、本校のこれまでの校内研究の成果から、子どもたちは自分でできることを増やし、少ない支援で学習に参加できるようになり、私たち職員は支援する機会や支援する人数を減らしています。このことが、結果として、学級や校務分掌の業務に取り組む時間を捻出していることにつながっていると考えられます。
- ・見直し、精選、削減という言わば「マイナスの取組」ではなく、子どもたちの成長という「プラスの取組」に裏付けられた働き方改革、このような視点で本校の働き方改革をこれからも進めていきたいと思います。

3 お耳を拝借!!

(1) 十日町小ボランティア委員会から嬉しいお話～10/18 (金) ホームページにも掲載～

- ・明日を城ヶ丘ふれあいフェスティバルの当日に控えた今日、ボランティア委員会の庭野さんと柳さんが封筒にいっぱいベルマークを届けに来てくれました。
- ・合計で 14,234.8 点 だったそうです。ボランティア委員会の皆さんで集計してくれたそうです。
- ・集まったベルマークをどうしようかとたくさん考えて、ふれあいの丘支援学校で使

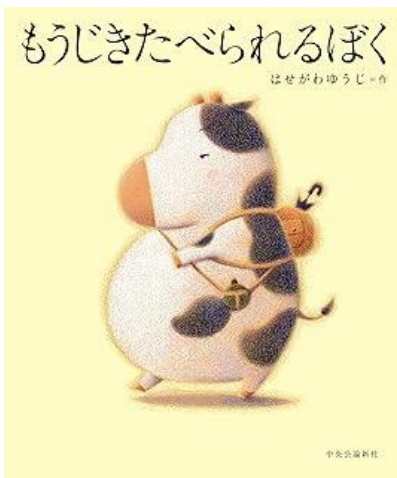


ってもらいたいという結論に達したのではないかと思います。

- 4年生と年間を通した交流及び共同学習を進めていますが、他の学年だけでなく委員会も交流活動が進められていることに、あらためて感激です。
- いただいたベルマークで教材などと交換する時には、十日町小学校の子どもたちと本校の子どもたちが一緒に遊べる遊具や教材にしようと考えています。
- お互いにいつも気にしている、そんな関係性がとても嬉しいです！

(2) 絵本の紹介

- 10月25日（金）～10月31日（木）の期間が「思いやり週間（いじめ見逃しゼロ強調週間と兼ねます）」となっています。
- 「思いやり」ってなに？と学級で考える際に参考となればと思い、絵本を3冊紹介します。活用していただければ幸いです。絵本が校長室前の棚にありますので、ご自由どうぞ。



はせがわゆうじ作
中央公論新社



内田麟太郎作 降矢なな絵
偕成社



たじまゆきひこ作
くもん出版